



## 「教えて！子牛のこと “都市伝説編”」

令和6年となりました。畜産業界は深い霧の中にあり、未だ出口が見えない状況です。残念ながら状況を打破するための特効薬はありません。こんな時こそ、基本に忠実に、地道にやることこそが重要です。普及センターでは、今年も毎月の市場通信を発行します。みなさんの経営改善のヒントになれば幸いです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



### ～伝説①～ 酪農家が育てた子牛は大きい？！

#### 酪農家の子牛の育て方

- 母牛はホルスタイン種  
和牛より大型なので、母牛のお腹の中も大きい☀️  
→ 胎仔の在胎日数が長く、生時体格が大きい傾向☀️  
→ 過大仔による分娩事故のリスクが高い☁️
- 受精卵移植により出生  
受精卵はホルモン処理されており生時体格が大きくなる傾向☁️
- 母子分離、人工哺乳  
飲乳量を把握、コントロールできる☀️  
通常は朝、夕の1日2回制限哺乳☁️
- スターターを給与  
酪農家ではスターター給与が当たり前☀️  
良質な粗飼料を給与していることが多い☁️



酪農家



和牛農家

育て方の違いは？



母牛の泌乳量の限り  
飲みたい時に飲みたいだけ  
飲める和牛の方が有利！☀️



#### 良質な粗飼料とは？

消化(通過)が速いこと  
→ 柔らかいもの  
→ 短く細断されたもの  
例) 適期刈りの牧草  
低水分の3番草  
ルーサン  
オーツヘイ など



必ずしも大きい訳ではないよ！

#### 酪農家が育てた子牛は大きいかもしれない！

生時体格が大きいことは発育に有利。  
人工哺乳は有利でもあり不利でもある。  
スターター給与していることは発育に有利。

#### 要点

**スターター と 良質粗飼料 の給与 が重要**



和牛農家のみなさんも是非！真似して やってみよう！

給与の仕方は次のページを見てね



## どうして「金魚っ腹」になる?



リグニンって?

- 繊維の中でも消化しづらいもの
- 刈り遅れの牧草に多い
- 敷料（わら、もみがら）に多い

### 消化不良と通過障害

子牛の第1胃は未発達でリグニンを分解する能力がない。  
 そこにリグニンが多く硬い粗飼料を摂取させてしまうと、消化不良となる。  
 →消化不良となると粗飼料が第1胃内に滞留する。  
 →滞留することで胃壁が伸びて薄くなり、だらりと下腹が膨れる。  
 この状態では第1胃は正常に動かない。

スターターを食べていない子牛は消化不良になりやすいんだって!



**× 原因はサイレージではないよ!**

答え

**「金魚っ腹」は硬い粗飼料を早い時期から給与することが原因!**

子牛には消化が速い柔らかい粗飼料から与えます。  
 粗飼料の本格給与は3か月齢以降、硬い粗飼料は4か月齢以降から。  
 飲乳量が十分かしっかり観察を。  
 離乳まではスターターを主体に。

サイレージでも乾草でも良質なものでいいんだね!



お問い合わせ≫ 奥州農業改良普及センター (0197-35-8451) 一関農業改良普及センター (0191-52-4961)

## 《子牛を大きく育てよう!》～岩手県肉用牛飼養管理マニュアルから～



～ 哺育牛の飼養管理「スターター」について～

マニュアルのダウンロードはこちら→

### スターターの役割

- 1 栄養補給**  
子牛の飲乳量は不安定  
→ 不足しがちな栄養をスターターがカバー
- 2 第1胃の発達促進**  
スターターの発酵分解により第1胃の絨毛が発達
- 3 粗飼料の消化促進**  
第1胃内の微生物が活発化  
→ 粗飼料を消化できるようになる

### スターターの特徴

- ・タンパク含量が高い
- ・エネルギーが高い
- ・発酵が穏やか
- ・吸収しやすい

### スターターの効果

- ・前躯巾、肩の充実
- ・体高の伸長
- ・免疫力の向上

ポイント

**スターターは子牛のための子牛に欠かせない離乳食です!**



生後1週間頃、数十グラムから、与えはじめます。  
 食べ残しは廃棄して、毎日新鮮なものを与えます。

